



市之倉だより

多治見市立 市之倉小学校 令和6年10月号

507-0814 多治見市市之倉町10-381

TEL 0572-22-3702 ホームページ <http://school.city.tajimi.lg.jp/ichinokura/>

9月後半になりましたが、まだまだ残暑が厳しく熱中症対策が欠かせません。でも子どもたちはできる場所でできることを精一杯楽しんでいます。そんな子どもたちの元気な姿、様子をできる限りHPにアップしています。お時間があるときにご覧いただき、家族の話題の一つとなっただけであればと思います。児童と家庭、地域の皆さん、学校職員の笑顔があふれる市之倉小学校となることを願っています。

「“命を守る訓練”に思うこと」

校長

先日、本校に多治見市教育長をはじめとした市教育委員会の方や東濃教育事務所の方が来校されました。校内の様々な場面を見ていただき、その後にお話をいただく中でこんなうれしいコメントをいただきました。

「市之倉小の子どもたちは、人懐っこく、かわいいですね。ふつうにあいさつもしてくれます。」

具体的にどういうことかと尋ねると、今回来校された方々（10名ほど）は、順番に授業中の教室に入っていくのですが、その時に子どもたちは教育長さんだろうが誰だろうが（特に低学年の子どもたちは）委縮したり緊張したりすることなく、気軽に声をかける子どもたちが何人もいたそうです。また教室に入ったときや廊下で、「こんにちは～」と普通感覚でごく自然にあいさつをしてもらえたと。

目の前の人に人懐っこく声をかけ、当然のように普通に挨拶ができる。これは安心で平和な市之倉の地域性や家庭環境が背景にあって生んでいる姿ではないかと感じる瞬間です。

さて、本校では火災や地震などの災害時、あるいは不審者対応として「命を守る訓練」を行ってききましたが、今月はそのまとめとして「予告なしの訓練」を行います。

学校職員による的確でスピーディーな判断と指示は非常に重要ですが、東日本大震災では、津波被害の大きかったある小学校での悲劇を教訓として、「自分の命は自分で守る」ことの重要性も注目されています。つまり、今回の訓練では、「いざ」という時に児童自身で何を考え、どう行動できるかを体験し、頭と体が動けるようにしていこうというものです。上級生は、もし近くに下級生（いわゆる自分より弱者）がいた場合、何ができるか（またはできないのか）という決断も訓練のポイントとなります。

子どもたちに火災でも地震でも、どんなことでも被害に遭遇するようなことは起きてほしくはないですが、「万が一」を想定し、子どもたちにも考えてもらいながら丁寧な指導を行っていきたいと思います。

不審者対応につきましても、地域での声掛けや見守り、ご家庭でのご指導をよろしくお願いいたします。

皆様と一緒にいつまでも「人懐っこくかわいい」と言われるこの子どもたちの笑顔を守りたいと思います。

